

一般会計予算決算常任委員会
総務文教分科会記録

令和8年3月18日

【開催日】 令和8年3月18日（水）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後3時～午後3時51分

【出席委員】

分 科 会 長	中 岡 英 二	副 分 科 会 長	伊 場 勇
委 員	大 年 恒 夫	委 員	北 永 千 賀
委 員	白 井 健 一 郎	委 員	藤 岡 修 美
委 員	宮 本 政 志		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

局 長	石 田 隆	議 事 係 長	岡 田 靖 仁
-----	-------	---------	---------

【審査内容】

1 議案第15号 令和8年度山陽小野田市一般会計予算について

午後3時 開会

中岡英二分科会長 ただいまより、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会を開催いたします。審査内容1、議案第15号令和8年度山陽小野田市一般会計予算について、自由討議を始めていきたいと思います。委員の皆さん、何か御意見はありますか。

宮本政志委員 この分科会で附帯決議を出すか出さないかというところに関して、少し自由討議をしたいと思います。ちょっと気になる審査がございまして、附帯決議を分科会で出したいと思っているので、その点について委員の方の御意見を聞いてみたいと思っています。

中岡英二分科会長 宮本委員から附帯決議を出したらどうかという御意見があ

りましたけども、ほかの委員の方で何か附帯決議に関して御意見があればお聞きします。内容というよりも、出すか出さないかということですね。（発言する者あり）出すことに対してどのようなお考えがありますか。

伊場勇副分科会長　今からの自由討議の中で議論される内容によりけりと思いますが、やはり私も懸念事項を持っています。まだまだ執行部の対策が行き届いてないところが審査の中で見受けられましたので、まずこの分科会の意思をしっかりとめて、それから全体会でもしっかり納得していただいて附帯決議を出すことが望ましいと考えます。

中岡英二分科会長　伊場副会長からも宮本委員からも、附帯決議を出す方向がいいのではないかという御意見がありました。ほかの委員の皆さん、どうですか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）異議なしということで附帯決議を出すと。

宮本政志委員　すみません。実際、内容が出ないと。この件で「附帯決議を出そう」「異議なし」というのは少し方向性としたらいけない。附帯決議そのものについて、皆さんがどうお考えかなということで提案しました。附帯決議についてですけど、小中学校のトイレの洋式化についてと、もう一つ、中学生の地域への部活移行については、非常に重要な審査だったと思いますので、まずこの二つについて、分科会で附帯決議を出したいと思っております。

中岡英二分科会長　宮本委員から、学校和式トイレ洋式化事業と中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業に関して附帯決議を出したらどうかという御意見がありました。

伊場勇副分科会長　附帯決議にする内容について、審査のときに委員各位からもいろいろ御意見、質疑があった中でまとめさせていただいております。

一つの案ですけども、こういった内容を附帯決議として出したらどうかという資料がございますので、皆様でこれを見ながら自由討議を進めていただきたいと思います。いかがでしょうか。

中岡英二分科会長 皆さん、どうですか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは異議なしということで、暫時休憩を取りましょう。

午後 3 時 5 分 休憩

午後 3 時 2 0 分 再開

中岡英二分科会長 休憩前に引き続きまして、分科会を再開いたします。それでは、附帯決議案として学校和式トイレ洋式化事業等に関するものが出ておりますので、その説明を副会長からお願いいたします。

伊場勇副分科会長 まず、整備スピードの加速と目標達成期限の厳守という項目にさせていただきました。本市の状況は、全国平均や県平均を下回る状況にあるということ。また、児童生徒の健康や避難場所機能の観点からもこれは喫緊の課題であって、市長が施政方針でおおむね 5 年以内に充足率 100% 達成すると明言されていたので、単なる継続事業にとどまらず、予算の確保はもちろんのこと、施工体制を強化して可能な限り前倒しでの整備に努めること。要はできるだけ早く整備すべきだという内容を書いています。

中岡英二分科会長 副会長から説明がありましたが、補足とか削除とか御意見があればお聞きします。御意見がないようであれば、このとおりに出したいと思います。

宮本政志委員 伊場副会長から附帯決議案を説明していただいて、このまま進めるというのも一つの方法です。しかし、私や藤岡委員は、もともと附

帯決議に関して会派でいろいろ議論をして、伊場副会長がこの案をまとめてつくって、分科会資料として出すことを把握していたんですけど、ほかの委員の方がこれを読んですぐに判断できるか分からないから、一旦持ち帰っていただいて、仮に修正や追加事項があればその案を作成して分科会でまた議論するのも一つの方法かと思います。

伊場勇副分科会長　そうですね。一旦概略だけ説明させてもらって、その後、付け加えや削除があれば御意見を頂くという進め方でよろしいかなと思うんですけど、いかがですか。

中岡英二分科会長　皆さん、それでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、読み上げてください。

伊場勇副分科会長　続いて、学校間の児童生徒数における公平性の確保について。この件については、令和7年6月の予算が出たときに附帯決議をしております。その審査の中でも、1基当たりの児童生徒数の数などが明らかになった中で、まだまだ学校によっては洋式化率や洋式便器1基当たりの児童生徒数に著しい格差が生じている、そして今も相当厳しい状況ということが明らかになりました。その中で、児童生徒数やトイレの総数に対するバランスを常に検証して優先順位を決定すること、また、質疑の中で出ましたが、普通教室棟など児童生徒の利用頻度が高い場所を重点的に整備し、実質的な利便性向上を優先することも議会意思として示すべきだと考えます。次に、新しい工法の研究による早期の復旧ということで、既存トイレを丸ごと改修する大規模工事だけでなく、工期短縮とコスト削減が可能な手法を積極的に取り入れること。また、便器や配管を全面的に取り替えない簡易的な洋式化工法なども執行部が調査されているようでございましたので、それについてもメーカーの最新技術を精査研究して限られた予算内で、より多くの洋式化を図る工夫をするということを記載しています。そして、現場、学校や保護者のニーズを反映した優先順位の設定ということで、施設管理側、教育委員会の

判断だけではなくて、現場の声を反映させること。また、古いトイレがまだたくさんありますので、異臭がするという声がよくあるということが質疑の中でもありましたし、老朽化の程度、故障の頻度など学校との協議をより密に行うこと。そして、保護者、児童生徒からの要望を的確に把握し、新設のニーズがある箇所から優先的に企画する柔軟な運用を検討することということです。次に、避難所としての機能の強化。多くの学校が避難所となっている中で、学校トイレは災害時の避難所としても大きな役割を担っていると認識していただきながら、高齢者、障害者などの和式トイレの使用が困難な避難者の負担軽減を考慮して災害時に拠点となる学校の洋式化を戦略的に進めることということで、これはもう教育委員会だけの話ではなくて横断的に——これは災害になる危機管理室等とも連携をするような話になると思いますが、それについても記載すべきだと考えています。

中岡英二分科会長　ただいま副会長から説明がありましたが、これを聞いた中で何か御質問があればお聞きしますが、一旦会派のほうに持ち帰って、皆さんの御意見をまとめて、改めて……（発言する者あり）委員がそれぞれ持ち帰って、御意見を持って再度審査していきたいと思います。

伊場勇副分科会長　自由討議なので、付け加えたほうがいいんじゃないかとか、ここはもう説明があったので入れなくていいんじゃないかとか、そういうところがあれば御意見を頂きたいと思います。

中岡英二分科会長　何か気づきがあればお聞きします。

藤岡修美委員　5番目の最後、「学校の洋式化」を「学校トイレの洋式化」とするほうがいいんじゃないかと思います。

中岡英二分科会長　5番目の中で「学校トイレの洋式化」に変更したほうがいいんじゃないかという御意見がありました。ほかに御意見はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、ないようでしたら、もう一つの中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業に関する附帯決議について、副会長、御説明をお願いします。

伊場勇副分科会長　まずは、指導者の確保と処遇の改善に向けた継続的な検討についてです。そもそも仕組みが構築途中だということなので、質疑で明らかになった事項や方針についても、議会意思として示すべきであると考えています。その中で、現状の指導者の謝金は、時給換算で500円から1,000円程度になると。執行部の説明では、そういう可能性があるので持続可能性に課題があると。地域クラブの質を担保して安定的な指導体制を築くために、以下の2点については措置を講じるべきだということで、まずは指導者の負担軽減のため、やはりその地域クラブについても会計処理や事務手続があると思いますので、まずその簡素化を書いています。そして、市による支援体制を構築すること、もう一つは、山陽小野田市立山口東京理科大学との連携を具体化して、学生指導者の活用や謝金体系の確立に向けた検討を加速させることを記載しております。次に、生徒の安全確保と犯罪防止対策の徹底も質疑で出ました。教職員の手を離れるということで、保護者の不安、スポハラや性犯罪等を払拭するため、実効性のある対策を講じることを記載しています。また、指導者の複数名配置を原則とし、密室化を防ぐための複数名による監視体制を確立すること、日本版DBSの導入動向を注視して、指導者に対する定期的な倫理研修や抜き打ちの現場視察を継続的に実施することということで、望遠カメラで撮影するなどを何とか食い止めようといろいろな対策が講じられていますが、これは部活からまた地域移行という中で手薄になってはならない観点だと思ひまして、その項目を入れております。続いて、経済的弱者及び多子世帯への配慮ということです。月額3,000円の受益者負担という方向性で事業が動いていますが、その中で経済的な理由で生徒の活動機会を奪うことがあってはならないということで、生活困窮者世帯や多子世帯に対する費用補助制度は他市でも取り入れているところがあります。また、令和8年度の

本格実施までに具体的な基準を策定してこういう設計性を図ることというようにしております。次は、教育的意義の継承と学校との連携強化ということです。地域移行後も部活が持続してきた教育的意義を失わせないための仕組みづくりを行うこと、勝利至上主義に偏ることなく、人間形成の場としての機能を維持するため、学校、教育委員会、文化スポーツ推進課の3者による情報共有会議を定期的を開催すること、また、生徒指導上のトラブルや心身の配慮が必要な情報について、保護者の同意に基づいた適切な連携フローを確立することを記載しています。次に、活動環境、ハード面の整備と適正な施設の利用です。活動時間が日没後に及ぶことによる屋外施設の照明不足や、会場確保の困難が現在予想されています。その中で認定地域クラブが優先的に公共施設や学校施設を利用できる調整ルールを明確化すること、また、夜間練習に対応するための照明設備等のハード整備について、中長期的な計画を策定することとあります。今、地域団体2団体が夜に活動されるところで、具体的に岡石丸運動広場ですが、夜間照明がもうほぼなくて防犯灯でクラブ活動をしているような状況です。またクラブの中で照明灯を自分たちで用意してというところがある。そこについては、公共性があるこの地域クラブ展開について、市が整備する必要があるんじゃないかというところから、こういう内容にさせていただいています。次に、6番目は財源の確保と丁寧な情報発信ということです。現在、まだ国と県の補助金が不透明な中、これは審査の中で明らかになりました。そして、一般財源の過度な膨張や保護者の負担が急激な増大を避ける努力をすること、また、企業版ふるさと納税の活用など多様な財源確保に努めること、そして、中体連等との情報連携ミス、認定外の表記問題などを再発させないように、これはもう主に大会等の出場の契約が様々あるということで、正確かつ丁寧な情報発信に努め、保護者の不信感や不安を招かないようにすることと記載をしております。

中岡英二分科会長 副会長から説明がありましたが、その説明を聞いて何かお気づきの点があればお願いします。

宮本政志委員　すみません。もともと伊場副会長と藤岡委員と私でしっかりすり合わせして、伊場副会長に作成してもらったものなんですけど、少しミスがあったかな。まず、6番の「中体連」というのは略称なので、ここには正式名称がいいかなっていうことと、それからその下の保護者の不信感やの前に、「保護者や団体関係者など、そういった方に対しての不信感や不安を招かないようにしながら」ですね。これはまた訂正案を作りましょう。問題が発生した場合は、やはりしっかりとその内容について関係者に説明をするべきだと思うんですね。そういったことはまた藤岡委員と私でまとめて、次回の分科会に修正案を出しましょう。

中岡英二分科会長　宮本委員から3点ほど訂正案が出ましたので、これを会派でもう1回話し合って……（発言する者あり）

白井健一郎委員　総論において賛成なんですけど、ちょっと気になったのが、指導者謝金の時給換算をしているところ。これは確かに私が質問したんですが、ちょっとストレート過ぎるかなと。しかも、根拠の数字として500円から1,000円というのは、まだ確定できないと思います。どのぐらいのクラブ数が立ち上がるかによって。だから、ここまで明示するのは、議会意思としては一步踏み込み過ぎじゃないかと思いますが、どうでしょうか。

伊場勇副分科会長　「500円から1,000円」となるのは可能性なので消したらどうかという御意見だったと思います。消したとしても「謝金では長期的な継続可能性に課題があります」となり悪くないと思うので、消しても問題ないかなと思います。

中岡英二分科会長　白井委員から消したらどうかという御意見がありました。時給換算で500円から1,000円程度となる可能性というところを削除したほうがいいんじゃないかということですね。（「まだ分からない

いもんね」と呼ぶ者あり）他の委員の方、削除してよろしいですか。それではその箇所を削除していきます。ほかに気になる点などがありますか。（発言する者あり）一旦各自持ち帰って再考していただいて、また審査していきましょう。それでは、そのほか附帯決議にするようなことがあればお聞きしますが、ありませんか。この２点で附帯決議案として出したいと思います。よろしいですか。

宮本政志委員　北永委員と大年委員は、附帯決議というそのものについて具体的にというのがなかなか難しいかと思うので、仮にこの二つ云々じゃなくて、本日のところは今のこの自由討議を踏まえて、この二つに関しては、修正も加えて新たに附帯決議案として伊場副会長に作成してもらうと。この二つの附帯決議案に関して、冒頭で言いましたように、もし修正とか訂正とかがあるのであれば、その委員が修正案あるいは訂正案を示していただきたいなど。それから、この二つ以外に、今日は附帯決議の言葉が思い浮かんでなくても、次の分科会の際にこの審査事業に関してこうこうこうで、あるいはこの予算に関して附帯決議を分科会で出すべきだと思われる委員は、その案を次の分科会に持ってきてもらわないといけないけど、そういう方向性でいったほうが。この二つ以外はないという前提で、もう附帯決議を出しませんという方向性は少し粗いかなと思うんですけど、会長、いかがですか。他の委員の皆さんがどう考えるかなと。

中岡英二分科会長　宮本委員から、修正などがあればその修正案を出していただく、また今ではなく次の分科会で附帯決議としてもしあれば、附帯決議の案ということで出していただければという話があります。ほかの委員の皆さん、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ではその方向でやっていきましょう。

伊場勇副分科会長　中学生の文化スポーツ活動体制の中で、藤岡委員が教育的意義というか教育委員会との関わりについていろいろ質疑をされて、一

応まとめた形にはなりましたが、もうちょっと教育委員会との関わりと
いったところも入れるべきかと思っていたところがあって、その点につ
いて意見が欲しいなと思ったんですけど。

藤岡修美委員 ここにも書いてあるんですけど、「部活動の地域クラブ活動へ
の展開は、学校部活動の教育的意義を継承する」とあるので、そこは強
調していただきたいのと、また指導の面で平日と休日の指導者が異なる
場合、指導の一貫性を確保する。これは連絡会議で成り立つのかな。ど
うなのかな。それと、中体連に限らず、休日に開催されるいろんな諸大
会に生徒が参加できる仕組みを何とかつくって。もう先生がいないので
その辺り……

伊場勇副分科会長 そうですね。今の観点でいうと、平日と休日についてはち
ょっと漏れているところもあろうかと思います。今とても不安に思われ
ている観点だと思うので、入れさせてもらいましょう。

藤岡修美委員 追加で、現役の先生が兼業兼職で地域クラブに入ることが可能
だと思うんです。2割か3割の先生がおられたので、その先生に入っ
ていただくと地域クラブは絶対大丈夫だと思うんですけど、その点が1点
です。あと、教員のOBですね。先生のOBで部活をやられていた方
を見つけ出して指導に携わっていただけると、保護者も生徒も安心だと思
うので、その辺りを求めていきたいと思うんですけど。

伊場勇副分科会長 そうですね。教員のOBのことは確かにおっしゃっていま
した。指導者の確保と処遇の改善ということで、1番のところにそれを
ちょっと入れてもいいかなと思います。それも入れて、案として次に提
出させていただきます。

宮本政志委員 そうですね。今のよう運びもいいと思うんですよ。例えば、
ほかの委員の方から、ここに関してこういうのを加えたらどうかという

のを今日言ってもらったら、伊場副会長のほうでそれをもって、また別途、先ほど会長が言われたように、次回のために修正案、訂正案を出すというのも一つよね。それと、ぜひ次回までにほかの委員の方からお聞きしたいのが、先ほどのトイレ洋式化にせよ、部活体制整備推進事業にせよ、この順番ですよね。これは順番が非常に微妙です。本来は、附帯決議でいえば、最初に分科会として議会として、これを執行部に言いたいという一番重要なところを上を持ってきてというような流れもいいと思うんですよ。そうすると、これはやはり最初に持ってきていただきたいってというような順番の関係もあれば、次回教えていただきたいなと思います。

中岡英二分科会長 宮本委員、順番というのは……（発言する者あり）この番号の順番ですね。（発言する者あり）分かりました。

白井健一郎委員 先ほど藤岡委員が言われたことで、教員のOBをどう利用するかという話は確かにそのとおりなんですけど、附帯決議で上げてまで要請するかということに関して、最後に教員のOBに期待するといえますか、その補充性っていうか補完性っていうか。やはり文化スポーツ推進課としてはもう正面から問題と向かい合ってほしいし、無理なら教員のOBにもちょっと声をかけるというような形なんじゃないでしょうかね。

宮本政志委員 今の白井委員の意見も分からないことはないけど、そもそも今本市が今回の議案に関して感じるということのは、受ける団体、これが目標30って言ったかな、目標があるけど。（「20」と呼ぶ者あり）20って言ったかな。まだまだ数は足りてない。団体イコール指導者なので、その指導者を確保するために、理科大の関係など様々な選択肢がある中の一つとして藤岡委員が教員のOBということを言われたので、こういった教員のOBも一つの案として指導者の確保のためにということで詳細として書いたほうが、今後の審査のときに附帯決議でこうだっ

てことで私どもも言いやすいので、逆にぜひ入れていただきたいなと思ってますけどね。

伊場勇副分科会長 限定せずに、指導者の確保については、例えば教員のOBなど熱心に指導されたOBの方もいらっしゃるでしょうから、「など」として記載すると、今後審査のときにそこをちゃんと当たったのかと、附帯決議を出した後にこっちからもしっかりと追及できるところはあるかと思います。白井委員、いかがですか。

白井健一郎委員 そうですね。1番は指導者の確保が必要だということで、山口東京理科大学の学生指導者も活用するって挙げていますから、この後に例えば教員のOBというのを入れても構わないと思います。

中岡英二分科会長 では、よろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは各自案を持ち帰って、再度修正等があれば話していきたいと思います。それでは、暫時休憩いたします。

午後 3 時 4 7 分 休憩

午後 3 時 5 1 分 再開

中岡英二分科会長 それでは休憩前に引き続きまして、分科会を再開いたします。これで分科会を終了いたします。

午後 3 時 5 1 分 散会

令和 8 年（2026 年）3 月 1 8 日

一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会長 中 岡 英 二